



パラリンピアントーク ～花岡伸和氏の講演から～

20日(火),心のバリアフリー事業の「パラリンピアン講演会」が西中学校で行われ,4・5・6年生が参加してきました。

今年は,アテネとロンドンのパラリンピックの車椅子マラソンに出場した花岡伸和氏の講演でした。花岡さんは高校のときバイクの事故で脊髄を損傷し車椅子での生活になったのですが,「失ったものを数えるのではなく,残されたものを生かそう」と前向きな気持ちを失わず,これまで様々なことにチャレンジしてきたそうです。「みんな同じだったらつまらない。みんなちがってみんないい!」「苦手なことがあった方が夢を見つけやすい」…等々,物事をポジティブに捉えることのよさを自分の体験をもとに子どもたちに語りかけてくれていました。



「私は今,幸せです。」と言い切るその笑顔に,様々な苦労があっても常に前向きに取り組み,それを乗り越えてきた人だけが醸し出せるすがすがしさを感じました。子どもたちも何かを感じ取ってくれたものと思います。

こころのプロジェクト「夢の教室」

22日(木)は,市の事業であるこころのプロジェクト「夢の教室」が,秋田市出身のチェロリスト:羽川真介氏とピアニスト:近藤美穂子氏の二名の講師の先生をお招きして本校で行われました。

サン・サンスの白鳥,映画「君の名は」の「前前前世」等,また「秋田県民歌」や「大仙市民の歌」を演奏していただき,重厚で柔らかなチェロの音色にすっかり聴き入っていました。

羽川氏は演奏の合間に,好きなことを見つけることの大切さや夢をあきらめずに努力すること,秋田のすばらしさを子どもたちに話してくださいました。チェロリストになりたいという夢を叶えた羽川氏の,秋田の子どもたちに自分のできることで何かしら還元したいという気持ちが伝わってきました。子どもたちに真剣に向き合ってくださいました演奏会でした。

演奏後「内小友の子どもたちの反応が素晴らしく,気持ちよく演奏できました。」と子どもたちにお褒めの言葉をいただきました。



目を閉じて曲の情景を思い浮かべながら真剣に聴き入る子どもたち

